

令和6年度北方型住宅技術講習会

道の民間住宅施策について

北海道建設部住宅局建築指導課

北方型住宅について

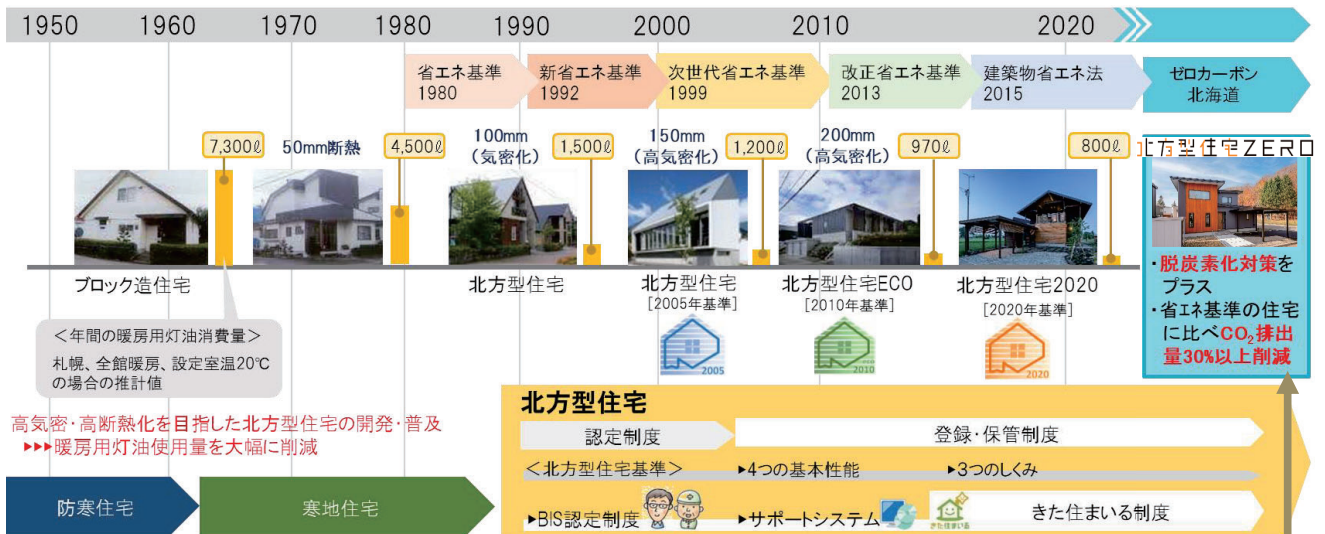
住まいのゼロカーボン化推進事業について

制度普及に向けた取組について

北方型住宅ZERO

北方型住宅について

積雪寒冷な気候に対応するため、戦後早期から、断熱や気密の技術開発を実施。1988年から、産学官が一体となって、北海道の気候風土に適した「北方型住宅」の開発・普及に取り組んできた。



2020年の「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、住宅分野の脱炭素化を推進するため、地域の気候特性等を踏まえた北方型住宅のゼロカーボンモデルである「北方型住宅ZERO」が令和4年度に創設された

北方型住宅について -4つの基本性能と3つのしくみ-

高い品質の確保と北海道らしい豊かな住まいづくりに向け、北方型住宅基準が制定されている。

「北方型住宅2020」の概要 —4つの基本性能と3つのしくみ—

長寿命

ライフステージの変化、居住者の変化にも対応し、世代を超えて引き継がれる高い耐久性と耐用性を持つ住宅

[主な基準]

- (高耐久) ・耐震等級2
- (高い耐用性) ・将来の間取り
- (維持管理の容易さ) ・維持管理等級3
- 劣化対策等級3 変更対応(推奨)

など

4つの基本性能

地域らしさ

北海道らしい景観や街並みに配慮して、積極的に地域材、地場産材を活用しながら日々の暮らしの中で地域らしさを育む住宅

[主な基準]

- (地域資源の活用) ・地域の気候風土を活かした設計
- (地域活性化) ・市町村施策に適合(推奨)
- 道産材、地域エネルギーの活用(推奨)

安心・健康

災害に強く、だれでも安全で健康に過ごすことのできる、暮らしを守る器としての住宅

[主な基準]

- (自然災害への対応) ・地震時の倒壊を防ぎ
- (健康・快適) ・ホルム対策等級3
- 冬期の自宅避難のため ・適切な換気量
- 無暖房でも一定室温を確保 ・全室暖房
- 建物内での避難経路確保 (高齢者等対応)
- 落下物の防止に配慮(推奨) ・高齢者等への配慮

環境との共生

寒さや雪などの気候特性に配慮しながら環境負荷を低減する持続可能な社会と暮らしを支える住宅

[主な基準]

- (省エネ) ・UA値=0.34以下
- (雪処理) ・敷地内の雪処理に配慮(推奨)
- ・省エネ(BE=0.8以下) (まちなみ形成)
- ・C値=1.0以下 など ・美しいまちなみ形成(推奨)
- ・外壁後退

3つのしくみ

北海道がおススメする優良な住宅事業者 **きた住まいるメンバーによる設計・施工**

BIS資格者による設計・施工

確かな設計・施工技術を持つ事業者による家づくり。

住宅履歴の保管

「きた住まいるサポートシステム」で住まいの情報を保管し、リフォームや住み替えに活用。

住宅性能の見える化

住宅性能に加え、設計・施工者の情報も見える化。

北方型住宅について -きた住まいるメンバー-

「きた住まいる」は北海道が定めたルールを守り、「安心で良質な家づくり」ができる住宅事業者（きた住まいるメンバー）を北海道が登録・公開する制度。

きた住まいるメンバーの取組を道が発信・応援

【オープンハウス等の情報公開】

オープンハウス情報

すべてのエリア 検索結果

BIS認定制度

- 積雪寒冷地である北海道での住まいづくりでは、室内環境や省エネの視点から、「断熱」「気密」「換気」「暖房」に関する知識と技能を有する技術者が設計、建設に関わることが特に重要
- BIS認定制度は、それらの知識・技能を有するスペシャリストを養成、認定する北海道独自の資格制度

BIS

住宅等の「断熱」「気密」「換気」「暖房」に関する高度な専門知識を有し、正しい設計と精度の高い施工方法の指導ができる技術者

BIS-E

住宅等の適切な「断熱」・「気密」施工技能を有し、これを指導・管理できる技術者

BIS-M

BISとBIS-Eの両方の資格を有している技術者

北方型住宅について-北方型住宅ZEROの目指す性能-

北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）〔改定版〕における2030年度の温室効果ガス排出量削減目標である48%（対2013年度比）に向け、新築住宅では、**現行省エネ基準の住宅と比較して約30%のCO₂排出量削減**（1棟あたり年間で**約2tの排出量削減**）を目指します。

北方型住宅ZERO

ゼロカーボン達成できた
未来からやってきた

ホッポZ



脱炭素化に資する対策
(ポイント化して加算)

1t-CO₂/年 削減

↓

(10pt以上で達成)

【脱炭素化に資する対策(例)】

- 再生可能エネルギーの活用
- 開口部の性能強化
- 更なる断熱性能の強化
- 道産木材の活用(構造材等)
- 木質バイオマスを利用(薪ストーブの活用) など

北方型住宅2020

環境との共生 長寿命 安心・健康 地域らしさ

- 気密性能(C値)：実測値1.0以下
 - ・暖房エネルギーを低減するため、断熱・気密性を確保。
- 一次エネルギー消費量(BE1)：0.8以下
 - ・エネルギー消費量の少ない高効率設備等を導入。

脱炭素化に資する対策	ポイント数
外皮平均熱貫流率U _A 値を0.20W/(m ² ・K)以下	5 pt
太陽光発電設備を屋根面と壁面に設置(合計5kW)	6 pt
太陽光発電設備と連携して、蓄電池設備を設置	5 pt
主たる構造材に道産木材を活用	2 pt
木質バイオマス(薪ストーブ等)を補助暖房に利用	1 pt

北方型住宅について-北方型住宅ZEROの対策-

次の項目のうち、一定のCO₂排出量の削減効果が見込まれて、積雪寒冷な北海道で特に効果が期待される対策を設定。

省エネ

自宅で消費するエネルギーを定量的に削減する効果があるもの

例)

- ・外皮平均熱貫流率UA値を0.28[W/(m²・K)]以下とする ⇒ 3 pt
- ・パッシブ換気システムを採用する ⇒ 1 pt

再エネ

再生可能エネルギーの導入、もしくは創出したエネルギーの自家消費の拡大に繋がるもの

例)

- ・太陽光発電設備に加え蓄電池を設置する ⇒ 5 pt
- ・木質バイオマスを活用した暖房機器を設置する ⇒ 1 pt

吸収源対策

森林等の二酸化炭素吸収源の対策に繋がるもの

例)

- ・主たる構造材等に道産木材を活用する ⇒ 2 pt

北方型住宅ZERO 登録第1号→



住まいのゼロカーボン化推進事業について

「北方型住宅ZERO」の新築や既存住宅等の省エネ改修などに対し市町村と連携して補助を行う「住まいのゼロカーボン化推進事業」を令和5年7月から実施。北海道地球温暖化防止対策基金を財源としており国の事業などとも併用が可能。

現状の課題

- 積雪寒冷な本道では、暖房用のエネルギー使用が多いため、家庭部門の温室効果ガス排出割合が全国に比べて高い
(道：23%、全国平均：15%) 【北海道地球温暖化計画】
- 道内住宅の太陽光発電設備の設置率は全国最低
(道：1.3%、全国平均：4.1%) 【H30住宅・土地統計調査】

対応方針

- 道内市町村の脱炭素化に寄与する取組を促進し、全道へ波及を図る

- 住宅の脱炭素化を目的とする補助事業を実施する市町村を支援
- 集会場等の多くの人々が利用する施設に対し、省エネ改修等を実施する市町村を支援

住宅のゼロカーボン化に向けた地域支援

事業概要

区分	補助対象事業	補助対象者 (札幌市を除く)	対象施設	補助額	効果促進の取組
新築	北方型住宅ZEROの新築・購入	補助事業を実施する市町村	住宅	市町村補助額の1/2 (上限：225千円)	完成住宅見学会
改修	開口部・躯体等の断熱改修、高効率設備等	ゼロカーボンシティ宣言し対象の補助事業を実施する市町村	住宅	市町村補助額の1/2 (上限：250千円)	代表的事例を納めた事例集作成
			集会場等	市町村補助額の1/2 (上限：450千円)	CO ₂ 削減等のPRパネルを掲示
再エネ	太陽光パネル、蓄電池の設備導入		住宅	市町村補助額の1/2 (上限：150千円)	代表的事例を納めた事例集作成
			集会場等	市町村補助額の1/2 (上限：300千円)	CO ₂ 削減等のPRパネルを掲示

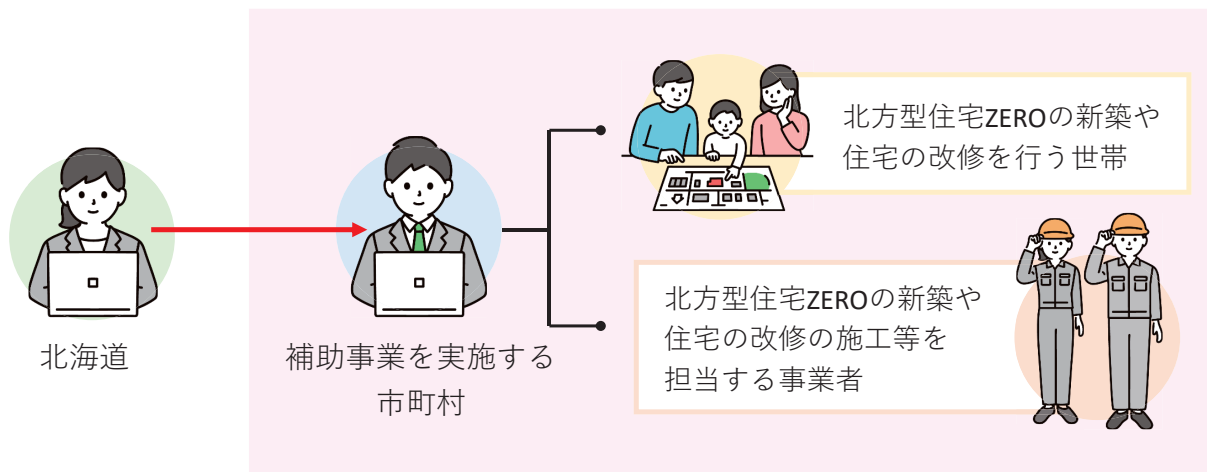
効果

- 補助制度の創設や補助対象の拡充など市町村の取組を促進
- 省エネ改修等の新たな需要を喚起

住まいのゼロカーボン化推進事業について

住まいのゼロカーボン化推進事業は補助事業を実施する市町村に対し、北海道が支援するというもの。

助成のフロー



住まいのゼロカーボン化推進事業について

当該事業を活用している市町村については、配布している補助制度一覧（令和7年2月25日時点）のほか、住まいのゼロカーボン化推進事業のページで公開中。




検索エンジン等で「住まいのゼロカーボン化推進事業」と検索すると当該ページがトップに出てきます。

コチラからもページにアクセスできます→



制度普及に向けた取組について

- **北方型の住まいLab**は、北海道がオススメする「北方型住宅」、「きた住まいる制度」に関する公式サイト。
- 一般消費者向けの情報のほか、事業者や自治体職員向けの情報も公開している。



検索エンジン等で「ホッポラボ」と検索すると北方型の住まいLabのページがトップに出てきます。



制度普及に向けた取組について-関連資料の掲載-

「北方型の住まいLab（ホッポラボ）」では、北方型住宅の関連資料を掲載中。北方型住宅の技術解説書や、脱炭素化に資する対策の項目毎のポイントを確認できるチェックリストも公開している。

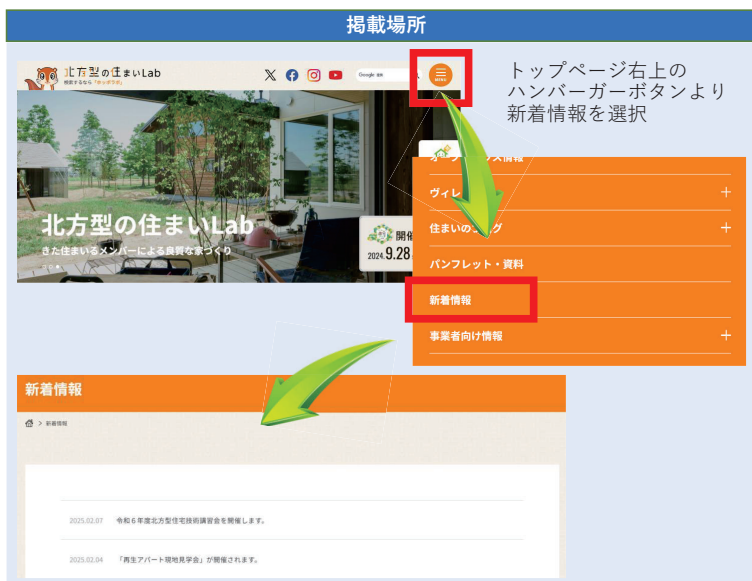


■北方型住宅ZEROチェックリスト		判定	OK
(建設地)	札幌市		
(建築主)	ホッポ		
(凡例)			
(必須)	プルダウンより該当する数値等を選択して下さい。		
(選択)	プルダウンより該当する数値等を選択して下さい。		
(必須)	記入項目になりますので、該当する内容を記載して下さい。		
(1) 基本情報を入力して下さい。 ※本項目が入力されていない場合、(2)以降の判定が正しく算出されません。			
建築物省エネ法に基づく地域の区分			
外皮平均熱貫流率 (UA)			
一次エネルギー消費量 (BEI)			
相当断熱面積 (C値)			
多量区域の該当			
(2) 北方型住宅ZEROについては、それぞれ、次の表の(A)及び(B)のいずれかを選択して下さい。			
(A)	4つの基本性能 (北方型住宅2020)	OK	
4つの基本性能			
	項目		



制度普及に向けた取組について-イベントの周知-

「北方型の住まいLab（ホッポラボ）」では、本日の技術講習会等の道主催のイベントや、きた住まいるメンバー主催のイベント情報を掲載中。



構造見学会等のイベントを開催される場合、周知のお手伝いをさせていただきますので企画係までご連絡ください。



制度普及に向けた取組について-オープンハウス情報の掲載-

- 「北方型の住まいLab（ホッポラボ）」では、きたすまいるメンバーによる北方型住宅のオープンハウス・モデルハウス開催情報を掲載中。
- 当該ページに掲載可能な情報について**随時受付中**。

掲載場所



北方型の住まいLab
きたすまいるメンバーによる良質な家づくり

開催決定!!
2024.9.28 sat 29 sun

オープンハウス情報
最新の北方型住宅のオープンハウス情報を掲載しています。
また、エリア別にオープンハウス情報の検索もできます。

エリアから探す

すべて 道央エリア 道南エリア 道北エリア
オホーツクエリア 十勝エリア 釧路・根室エリア 道南エリア

掲載情報の提供について

オープンハウス開催の1週間前までを目処に電子フォームにより情報提供いただきますようお願いいたします。



【掲載イメージ及び内容】



新モデルハウスOPEN!!【株式会社橋本川島コーポレーション】

省エネ性能と安心の暮らしを両立。今と将来に安心のフレキシブルな住まい。こもりのモデルハウス立地の最大の魅力は、目の前に広がる公園です。自然の豊かさと緑がもたらす癒し、心身をリフレッシュし、新たなエネルギーをチャージできるでしょう。

【設計にも優しい省エネ設計で、快適さと経済性を両立した住まい。】

ガムバウム調板と貫通板が目を惹く外観。温かみを感じさせない吹き抜けが心地よいリビングなど居心地の良さに加え、高い遮音性能に電気自動車急速充電設備を設置するなど、将来を見越した安心のプランとなっています。

将来に馴染みやすい可能な2階の洋室は、趣味の部屋や書斎用の部屋としても活躍。パントリーや宅配ボックスなど子育て世代にも嬉しい家事のサポート機能も充実した住まいです。

<住宅情報>
長期優良住宅登録（申請専断）
きたすまいる登録：北方型住宅2023年度
外売平均販売価格：UA値0.25W/mK

開催期間 **ホームページよりご確認ください。** ※見学は予約必須となっております。【URL】<https://hkhouse.jp/modelhouse/>

住所 旭川市豊和2-4-17-2051
会社名 株式会社橋本川島コーポレーション
TEL 0166-55-0001
詳細リンク <https://hkhouse.jp/modelhouse/>